

株主の皆様へ

第 **127** 期
中間報告書

2025年4月1日から2025年9月30日まで

世界をなめらかにする仕事。

機械のあらゆる回転部位をなめらかにするベアリング技術。
より精密なベアリング技術があれば、軸はよりなめらかに回転し、
エネルギーロスは限りなく少なくなります。
つまりベアリングは、省エネルギーのための技術です。
ベアリングで磨いてきたその技術は、
これからの電気自動車やロボット、自然エネルギー社会までも、
なめらかに変えていきます。

NTN 株式会社

証券コード 6472

株主の皆様へ

株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。

ここに、当社の第127期中間報告書をお届け
いたします。

株主の皆様には今後ともご支援とご鞭撻を賜り
ますようよろしくお願い申し上げます。

取締役 代表執行役 執行役社長
CEO (最高経営責任者)

鷓飼 英一



事業の概況

当中間連結会計期間(2025年4月1日～2025年9月30日)における世界経済は、持ち直しの動きが緩やかになっており、一部の地域において足踏みがみられました。日本経済については、米国の通商政策などによる影響が自動車産業を中心にみられるものの、個人消費や設備投資等に改善の動きが見られ、緩やかに回復しました。海外においては、米国経済は、景気拡大が緩やかとなる中、関税率引上げに伴う駆け込み需要やその反動の影響などの不透明感がみられました。中国経済は、各種政策の効果がみられるものの、景気は横ばいとなっており、アジアのその他新興国経済は、景気の弱含みがみられました。欧州経済はドイツなど一部に景気の足踏みがみられ、持ち直しの動きは緩やかになりました。

かかる状況下、当中間連結会計期間の売上高は402,256百万円(前年同期比2.8%減)となりました。損益につきましては、営業利益は規模減の影響などはありませんでしたが、売価転嫁や変動費および固定費の削減などにより、12,865百万円(前年同期比29.3%増)となりました。経常利益は、8,727百万円(前年同期比150.5%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は、3,100百万円(前年同期は2,125百万円の親会社株主に帰属する中間純損失)となりました。



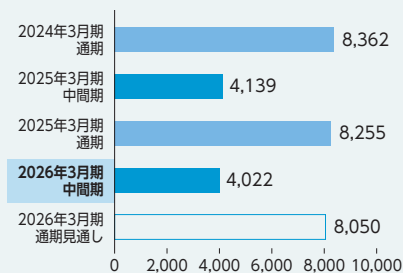
当社グループは、2024年4月から開始した中期経営計画「DRIVE NTN100」Finalで掲げた「事業構造の変革(Transformation)の加速」の継続とNTN再生の完了を目指し、生産再編を中心とする事業構造改革の実行と、「SQCCD^{*}」の強化を通じた「稼ぐ力」の向上に注力してまいります。

株主の皆様には、今後ともご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

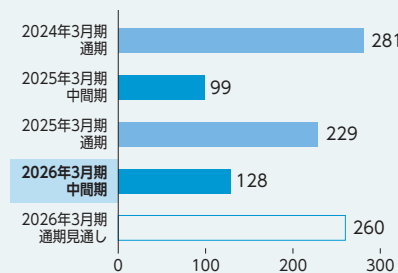
* Safety(安全)、Quality(品質)、Compliance(法令遵守)、Cost(コスト)&Cash(キャッシュ)、Delivery(納期)&Development(開発)

連結財務ハイライト

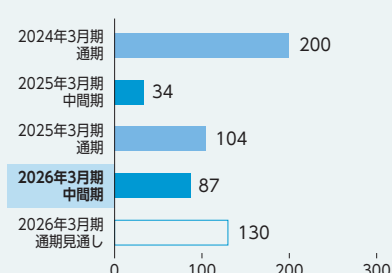
売上高(億円)



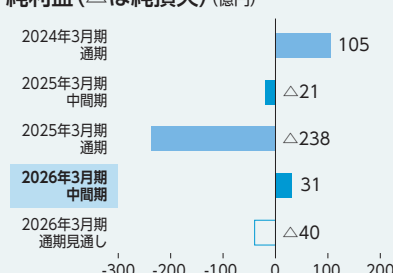
営業利益(億円)



経常利益(億円)



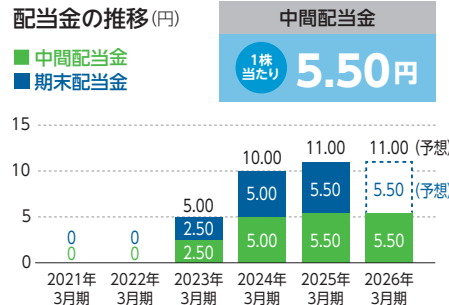
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益(△は純損失)(億円)



当期の配当について

当期の中間配当金につきましては、業績、配当性向、経営環境等を勘案しました結果、1株につき5.50円とさせていただきます。

配当金の推移(円)



決算説明会について

2025年11月5日に開催した2026年3月期第2四半期(中間期)決算説明会の内容の動画をご覧ください。



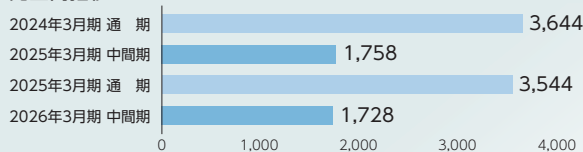
セグメント別の概況

日本

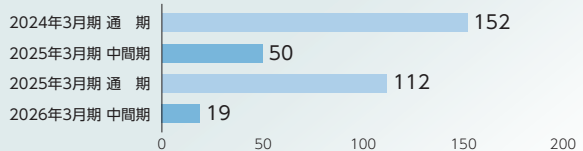
2026年3月期
中間期
売上高
1,728 億円

販売につきましては、軸受他事業においては、アフターマーケット向けで増加しました。OEM市場向けでは産業機械向けで増加し、自動車向けで減少しました。CVJアックスル事業においては、OEM市場向けでは自動車向けで客先需要の低減により減少しました。全体としては、売上高は172,815百万円(前年同期比1.7%減)となりました。セグメント損益は売価転嫁の影響などはありませんでしたが、販売規模減や為替の影響などがあり、1,903百万円のセグメント利益(前年同期比62.3%減)となりました。

売上高推移 (単位: 億円)



セグメント利益推移 (単位: 億円)

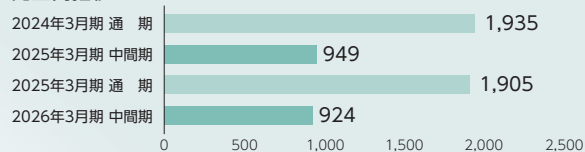


欧州

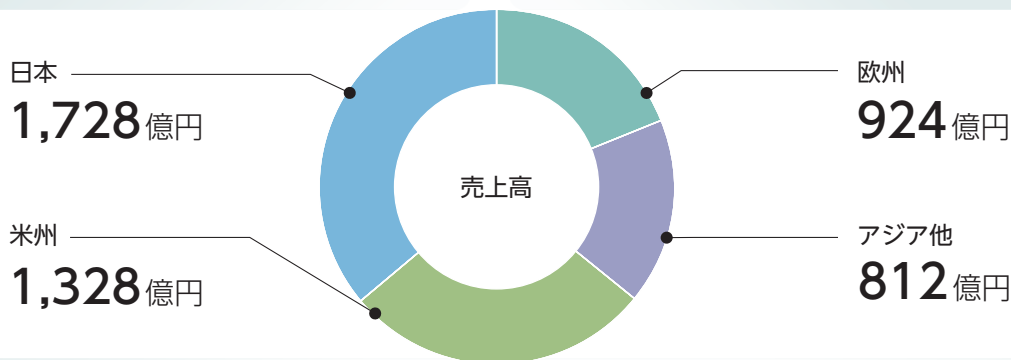
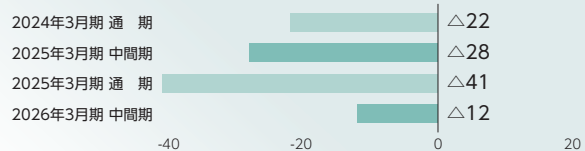
2026年3月期
中間期
売上高
924 億円

販売につきましては、軸受他事業は産業機械向けで増加しましたが、アフターマーケット向けおよび自動車向けは減少しました。CVJアックスル事業においては、自動車アフターマーケット向けおよび自動車OEM向けともに客先需要の低減により減少しました。全体としては為替の影響もあり、売上高は92,437百万円(前年同期比2.7%減)となりました。セグメント損益は販売規模減の影響はありませんでしたが、変動費や固定費の削減などにより、1,206百万円のセグメント損失(前年同期は2,865百万円のセグメント損失)となりました。

売上高推移 (単位: 億円)



セグメント利益推移 (単位: 億円)

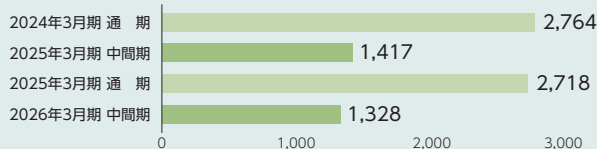


米州

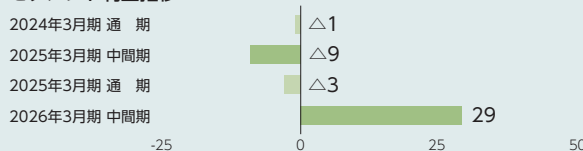
2026年3月期
中間期
売上高
1,328 億円

販売につきましては、軸受他事業は産業機械向け、CVJアックスル事業は自動車アフターマーケット向けで現地通貨ベースでは増加しましたが、為替の影響や自動車OEM向けで客先需要低減の影響を受けました。その結果、両事業とも減収となり、全体としては、売上高132,892百万円(前年同期比6.3%減)となりました。セグメント損益は米国の通商政策による影響はありましたが、売価転嫁や固定費の削減などにより、2,987百万円のセグメント利益(前年同期は977百万円のセグメント損失)となりました。

売上高推移 (単位: 億円)



セグメント利益推移 (単位: 億円)

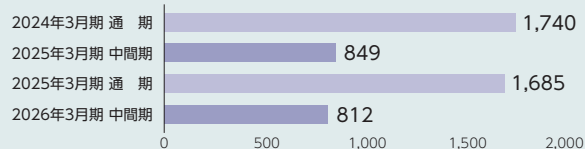


アジア他

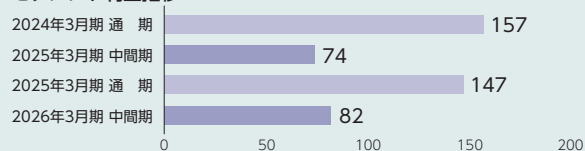
2026年3月期
中間期
売上高
812 億円

販売につきましては、軸受他事業においては、アフターマーケット向けおよび産業機械向けで増加しましたが、自動車向けで減少しました。CVJアックスル事業においては、自動車アフターマーケット向けで増加しましたが、自動車OEM向けで客先需要の低減により減少しました。全体としては為替の影響もあり、売上高は81,242百万円(前年同期比4.3%減)となりました。セグメント損益は販売規模減の影響はありましたが、変動費や固定費の削減などにより、8,280百万円のセグメント利益(前年同期比11.4%増)となりました。

売上高推移 (単位: 億円)



セグメント利益推移 (単位: 億円)



* 上記のセグメント情報には、セグメント間の取引が含まれております。

事業形態別の概況

軸受他事業

2026年3月期
中間期

売上高 **1,676** 億円

客先需要の回復などはありませんでしたが、為替の影響により売上高は167,660百万円(前年同期比0.3%減)となりました。営業損益は売価転嫁や経費の削減などはありませんでしたが、販売規模減および為替の影響などにより4,554百万円の営業利益(前年同期比31.4%減)となりました。

主な商品・サービス

建設機械向け



資源採掘や土木建設で活躍

航空・宇宙向け



世界のジェットエンジンに採用

リモート技術支援サービス

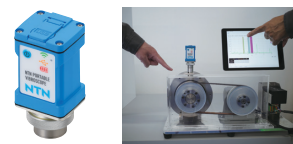


自動車向け



EV・HEV向け高速、耐電食軸受

NTN ポータブル異常検知装置



CVJアックスル事業

2026年3月期
中間期

売上高 **2,345** 億円

客先需要の低減および為替の影響により売上高は234,595百万円(前年同期比4.6%減)となりました。営業損益は販売規模減および為替の影響などはありませんでしたが、変動費および経費の削減などにより8,311百万円の営業利益(前年同期比151.0%増)となりました。

主な商品・サービス

ドライブシャフト

エンジンやモーターの駆動力をタイヤに伝える商品。



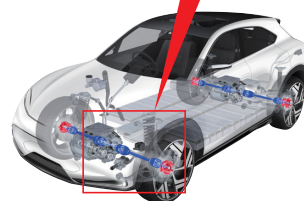
世界最高水準の伝達効率
高効率固定式等速ジョイント[CFJ]

ハブベアリング

タイヤを円滑に回転させ、車重を支えるベアリング。



回転フリクションを64%低減
[低フリクションハブベアリングV]



NTNレポート2025 (2024年度)

事業概要、中期経営計画における方針や戦略、担当執行役による進捗解説など各事業に関する詳細な情報は「NTNレポート2025」に掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



NTNレポート

<https://www.ntn.co.jp/japan/investors/annual.html>



NTNレポート2025

ビジネスモデルの強化

軸受他 CVJ
アックスル

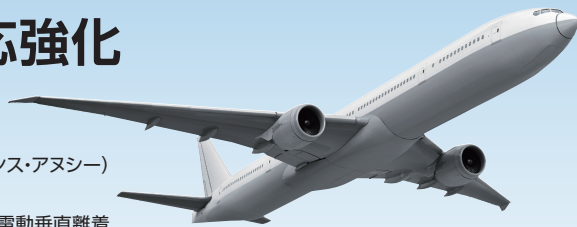
- 事業概要……………P.31 / P.35
- 主な商品・サービス……………P.31 / P.35
- 事業担当役員による「DRIVE NTN100」Finalの進捗解説……………P.32 / P.36

欧州における航空宇宙市場への対応強化

— NTN Europeの生産能力を増強 —

当社は、航空市場の力強い回復と今後の成長を見据え、連結子会社のNTN Europe S.A. (フランス・アヌシー) のアルゴネ工場において、航空宇宙向け軸受の生産能力を段階的に増強することを決定しました。

今後も、世界各地で開発が進む次世代エンジン、ドローンなどのUAV(無人航空機)や、eVTOL(電動垂直離着陸機)などの新たなニーズにも対応し、持続可能な航空宇宙産業の発展に貢献してまいります。



NTN Europe S.A. アルゴネ工場 (フランス・アルゴネ)



①NTN Europeアルゴネ工場の役割

NTN Europeのアルゴネ工場は、ジェットエンジンやヘリコプター向けなど航空分野のほか、民間ロケット「Ariane 6」など宇宙分野向けにもベアリングを生産・供給する、欧州における当社グループの航空宇宙事業の中核拠点です。



航空宇宙向け各種ベアリング

②成長市場への積極展開

欧州の航空市場は、コロナ禍から着実な回復傾向が続いているほか、カーボンニュートラルを目的とした旧型機のモデルチェンジや新興地域の需要拡大により今後も継続的な成長が見込まれています。この成長市場において拡大する需要に対応すべく、生産能力の増強を積極的に展開しています。

③競争力のある生産体制を構築

今回の投資で旋削から最終組立までの工程に対応する新設備の導入、デジタル化・ロボット化などの生産能力増強を2030年度まで段階的に進めます。

株主の皆様へ

議決権行使に関するお願い

当社は、株主の皆様と長期的な信頼関係を築くためのコミュニケーションの場でもある株主総会を、毎年6月に開催しております。

株主の皆様におかれましては、大切な権利である株主総会の議決権につきまして、招集ご通知等をご参照のうえご行使くださいますようお願い申し上げます。



※2025年6月25日に開催された第126期定時株主総会の模様。総会当日の模様の一部は、後日当社ウェブサイトにて動画配信を行っております。

議決権行使の方法

(注) 詳細につきましては、毎回必ず株主総会招集ご通知の記載をご確認ください。



1
インターネットによる行使



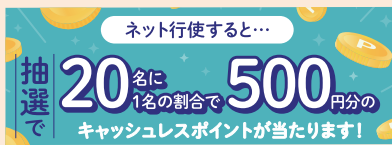
2
郵送による行使



3
当日ご出席

特典のご案内 インターネット行使限定

インターネットから議決権を行使いただいた株主様に限り、抽選で各種キャッシュレスポイントが当たるキャンペーンにご応募いただくことができます。事前に議決権を行使される場合は、ぜひご検討ください。



(注) 上記特典は2025年6月に開催した株主総会におけるものです。今後の株主総会における特典の有無・内容等は変更となる場合がございます。

Q. 資料はどこで確認できる?

A. 「IR情報」の「IR資料室」に掲載しております

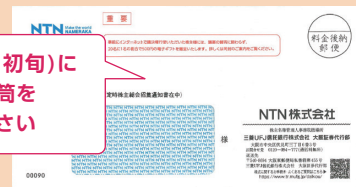
当社ウェブサイト トップページから「IR情報」ページに移動後、画面右側にある「IR資料室」から「株主総会」をご選択ください。

「株主総会」はこちらからアクセスできます

<https://www.ntn.co.jp/japan/investors/meeting.html>



株主総会前(6月初旬)に
お手元に届く封筒を
必ずご確認ください



ウェブサイトのご案内

様々なコンテンツを公開しています

当社のウェブサイトでは、財務・非財務の情報開示に加え、当社グループを分かりやすく紹介したコンテンツや、最新の取組み等を随時公開しています。

ウェブサイトトップページ <https://www.ntn.co.jp/>



NTNニュース配信登録のご案内

配信登録いただけますと、ニュースリリースなど、当社の情報を電子メールでお届けします。ご登録はこちらをご参照ください。

<https://www.ntn.co.jp/japan/newsmail.html>

※本配信サービスは、三菱UFJ信託銀行(株)証券代行部が運営しています。



その他コンテンツ

公式YouTubeチャンネル

企業CM、事業紹介などの動画を公式チャンネルで公開



ベアリングって何?

ベアリングを基礎から学べる特設サイト




ひとめでわかるNTN

NTNの事業や成果がひとめでわかるコンテンツ



会社情報 (2025年9月30日現在)

当社の概要

社名 NTN株式会社
商標 
創業 1918年3月
設立 1934年3月
資本金 543億円
従業員 5,592名(連結:21,764名)
事業内容 軸受、ドライブシャフト、精密機器商品等の製造及び販売

取締役

取締役 鶴飼 英一
取締役 山本 正明
取締役 木下 俊平
取締役 孝橋 宏二
取締役 江上 正樹
取締役 播磨 悦

社外取締役 川上 良
社外取締役 小松 百合弥
社外取締役 村越 晃
社外取締役 木谷 泰夫
社外取締役 塔下 辰彦
社外取締役 和田 浩美

執行役

代表執行役 執行役社長 鶴飼 英一*
代表執行役 執行役 山本 正明*
執行役 市川 博幸
執行役 皆見 章行
執行役 川端 恭弘
執行役 菊田 剛
執行役 木下 俊平*
執行役 孝橋 宏二*
執行役 楯岡 生也
執行役 谷尾 雅之
執行役 中野 賀泰
執行役 柳田 圭治

*取締役を兼務する執行役

株式情報 (2025年9月30日現在)

株主数および株式数

株主数 73,700名
発行済株式数 532,463,527株
(自己株式852,518株を含む)

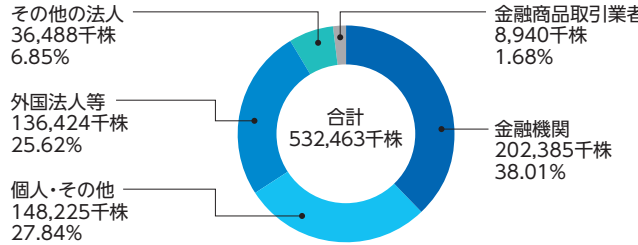
大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率* (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	78,537	14.77
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	24,973	4.69
明治安田生命保険相互会社	21,344	4.01
NTN共栄会	17,530	3.29
野村信託銀行株式会社(投信口)	16,255	3.05
NTN従業員持株会	13,852	2.60
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	13,222	2.48
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG(FE-AC)	12,132	2.28
株式会社三菱UFJ銀行	11,332	2.13
第一生命保険株式会社	9,328	1.75

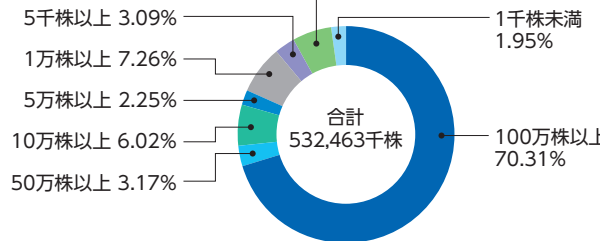
*持株比率は自己株式数(852,518株)を控除して計算しております。

株式分布状況

所有者別



所有株数別



株主メモ

事業年度 毎年4月1日~翌年3月31日
定時株主総会 事業年度終了後3か月内
基準日 毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主をもって、その事業年度に関する定時株主総会において権利を行使することができる株主とします。その他必要あるときは、あらかじめ公告して、基準日を定めます。

剰余金の配当 3月31日
受領株主確定日
中間配当 9月30日
受領株主確定日
公告方法 電子公告

ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載の場合のホームページアドレス
《<https://www.ntn.co.jp>》
〒100-8212
東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関

同連絡先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話(通話料無料) 0120-094-777

ご注意 1.株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2.特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

NTN株式会社

本社 〒530-0005
大阪市北区中之島3丁目6番32号 ダイビル本館



地球環境に配慮した
植物油インキを使用
しています。